

【NEWS RELEASE】

2019年1月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

日本自動ドア株式会社に「SMBC事業継続評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、日本自動ドア株式会社（代表取締役社長：吉原 二郎）に「SMBC事業継続評価融資」を実施いたしました。

「SMBC事業継続評価融資」は、MS & ADインターリスク総研株式会社（代表取締役社長：村戸 眞）¹と三井住友銀行が共同で開発した独自の評価基準に基づき、企業の事業継続計画（BCP²）および事業継続マネジメントシステム（BCMS³）の構築・運用状況等を評価し、事業継続における今後の改善余地や取組のポイントについて、MS & ADインターリスク総研株式会社より還元させていただく融資商品です。

今回対象となりました日本自動ドア株式会社の事業継続への取組に対する評価では、特に以下の点等が評価の対象となりました。

平常時のBCM運用体制として部門横断の「BCP対策委員会」を組織し、BCP策定・周知を含めたBCMの取組を推進されている点

顧客への影響等を考慮した上で、災害時の重要業務やその目標復旧時間について検討されている点

三井住友銀行では、「SMBC事業継続評価融資」により、有事における企業の事業継続対応のための体制構築を支援するとともに、企業のリスク管理の取組を金融の立場から支援することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



災害発生時に拠点間で支援物資を融通し合う取組を実施

<ご参考>

1 MS & ADインターリスク総研株式会社

MS & ADインシュアランスグループで「リスクマネジメント事業」を担うコンサルティング会社。企業の事業継続やリスク管理における豊富なコンサルティング実績を持ち、事業継続分野の国際協会であるBCI（事業継続協会）の日本支部において中心的な役割を担っている。

2 事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）

事故や災害などが発生した際に、「いかに事業を継続させるか」若しくは「いかに事業を目標として設定した時間内に再開させるか」について作成する計画書および手順や情報を文書化したもの。

3 事業継続マネジメントシステム（BCMS：Business gyouContinuity Management System）

BCPをもとに組織の復旧力や対応力（事業継続性）を継続的に向上させるフレームワークおよび仕組のこと。BCMSは、BCPの策定から運用、見直しまでのマネジメントシステム全体を指し、事業継続への取組が効果的に運用管理され、必要に応じて改善し、それを実行するためにはPDCA（Plan Do Check Action）を実現するマネジメントが要求される。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。